

研修報告書 No.18

研修先： 嶺北中央病院

○県外在住医師から見た高知の地域医療の状況

私は東京から高知に来て地域医療研修を行いました。地域医療の特徴として、医師だけでなく医療スタッフが協力し合いながら医療を実践している点が印象的でした。どの患者さんに対しても温かく接する姿勢が見られ、医療チームとしての結束力の強さを感じました。

都市部の医療では、診療の多くが医師任せになっている印象があります。しかし、高知では医療スタッフが積極的にリーダーシップを発揮し、診療の質を高めていることが特徴的でした。例えば、栄養サポートチーム（NST）や感染制御チーム（ICT）のラウンドにおいては、管理栄養士や看護師が主体的に活動し、豊富な知識をもとに患者ケアの向上に努めていました。このようなチーム医療の実践は、患者さんの治療や予後の改善に大きく寄与していると感じました。

○研修内容に対する意見

本研修では、スケジュールが明確に定められており、非常に充実した内容でした。日々の外来診療をはじめ、救急対応にも積極的に携わることができました。特に、救急車による搬送対応をほぼ毎日経験できたことは、地域医療の実情を学ぶ上で非常に有意義でした。また、自習の時間も確保されており、興味を持った事例について深く学ぶ機会が与えられていた点も良かったと感じています。

高知県は広範な地域をカバーする必要があるため、救急搬送に関しても学ぶべきことが多くありました。救急車に同乗し、広範囲にわたる搬送を経験したことは、都市部とは異なる地域医療の現状を理解する上で貴重な経験となりました。

さらに、体動困難な患者さんが髄膜炎を疑われ、高度医療機関へ搬送されるケースを経験しました。その際、ドクターヘリが搬送手段として活用される場面に立ち会うことができました。このように、地域の医療機関間の連携や適切な搬送手段の選択など、単に疾病の治療だけでなく、医療システム全体を学ぶ機会にもなりました。

○今回の臨床研修で得たと考えられるもの

本研修を通じて、都市部と地方の医療の違いを実感することができました。私は東京の病院で研修を受けていたため、人口の少ない地域での医療提供の実情についてはこれまで深く理解する機会がありませんでした。しかし、今回の研修を通じて、限られた医療資源の中で最大限の医療を提供するための工夫や、医療従事者の連携の重要性を学ぶことができました。

した。

また、都市部では専門的な医療機関が近隣に存在するため、患者さんの搬送は比較的容易です。しかし、高知のような地域では、救急搬送やドクターヘリなどを活用しながら、迅速かつ適切な医療提供を行う必要があります。こうした地域特有の医療システムを経験できたことは、今後の医療従事者としての視野を広げる貴重な機会となりました。

本研修で得た知見を生かし、今後の医療活動に役立てていきたいと考えています。